

## 「社会調査士」の認定資格について

※「社会調査士」は、環境ツーリズム学部で取得できる資格である。指定された5科目の単位を取得して社会調査協会（認定機関）に申請すれば資格が認定されるので、多くの学生の皆さんが資格取得にチャレンジするよう期待している。

### 1. 資格取得の概要

「社会調査士」とは、「社会の動きを読み解く専門家」、各種の社会調査の企画・実施・分析を担当する専門職であり、2004年4月から「社会調査士資格認定機構（「認定機構」と略す）」が認定を始めた新しい資格である。2008年12月から「一般財団法人社会調査協会（調査協会と略す）」に組織を変え、資格認定を継続することになった。長野大学では、2018年4月現在、100名を超える卒業生が資格の認定を受けている。

環境ツーリズム学部では、多くのゼミナールで取り込まれているフィールドワークにおいて、社会調査の方法（観察法、面接法（聞き取り調査）、質問紙法（アンケート調査）、ドキュメント分析（資料調査）、参与観察など）を用いた研究が行われている。

多くのゼミナールや「地域調査演習」は、社会調査を実際に経験できるカリキュラムとなっている。これらの学びをとおして身につけた「調査力」は、どの分野に就職しても役立つ力となる。

この資格は、「3. 課程表」の5つの指定科目の単位を取得し、大学をとおして「調査協会」に申請し、認定を受けることによって取得できる。申請には、認定審査手数料16,200円が必要である。なお、就職活動のために3年生以上に対して「社会調査士（取得見込み）認定証明書」を発行する制度もあるが、手数料が5,400円プラスとなる。

### 2. 履修の留意点

①資格認定の申請をするためには、「3. 課程表」の5科目すべての単位取得が必要となる。また、卒業が資格申請の要件となる。

②カリキュラムの構成は、次のとおりである。

「社会調査論」＝社会調査の基本的事項、調査設計と実施方法を学ぶ。

「社会統計法」＝基本的な資料とデータの分析方法を学ぶ。

「統計学」＝統計学の基礎知識と量的データの分析方法を学ぶ。

「社会調査法」＝面接法（聞き取り調査）やドキュメント分析などの質的調査の方法を学ぶ。

「地域調査演習」＝質問紙法とヒアリングによる調査を行い、データの集計・分析と報告書の作成を体験する。

③「地域調査演習」の受講は、「社会調査論」の単位を取得していることが条件となる。

### 3. 課程表

社会調査協会の標準カリキュラム		単位	本学対応科目	単位	年次	基準
A	社会調査の基本的事項に関する科目	2	社会調査論 (通年)	4	1～	必修
B	調査設計と実施方法に関する科目	2				
C	基本的な資料とデータの分析に関する科目	2	社会統計法 (前学期)	2	2～	必修
D	社会調査に必要な統計学に関する科目	2	統計学 (後学期)	2	2～	必修

E	量的データ解析の方法に関する科目	2	該当科目なし	—	—	—
F	質的な分析の方法に関する科目	2	社会調査法 (後学期)	2	2～	必修
G	社会調査の実習を中心とする科目	4	地域調査演習 (通年)	6	3～	必修

\* 「E」と「F」は、どちらか1科目を選べばよい。

#### 4. 社会調査協会のホームページ

「社会調査士」についての詳細は、下記のホームページを参照のこと。

<http://jasr.or.jp>

### 「森の恵みクリエイター」の認定資格について

森の恵みクリエイター資格とは、森を活かす知識や技術を身につけ、森への愛情を備えた人に授与される長野大学独自の資格である。森の恵みクリエイター資格は、初心者向けのⅡ種と、上級者向けのⅠ種からなる。Ⅰ種もⅡ種も、「愛着と情熱を持って森にかかわることのできる人」を求めることには変わりはないが、Ⅱ種では、森の恵みの活かし方についての基礎を身につけることをねらいとし、Ⅰ種では、社会の中で自分が中心となって森の保全と活用についての具体的なアクションを起こすことができる人材を育てることを目標としている。詳しくは、「森の恵みクリエイター養成講座」専用ホームページ（URL：<http://gp-morinomegumi.nagano.ac.jp/>）を参照のこと。

#### (1) 資格の種類

##### ①Ⅱ種資格

■目標とする人物像： 森の生態系サービスを利活用する知識を習得し、愛着と情熱を持って、それぞれの社会的立場から、森林の利活用に貢献できるようになる。

■取得要件：

- ・必修講義3回、必修実習2回
- ・選択講義5回、選択実習3回
- ・小論文（野外実習の提案を小論文にまとめる）

##### ②Ⅰ種資格

■目標とする人物像： 森林の生態系サービスを利活用できる知識と技術を習得し、愛着と情熱を持って、自ら考え、森林の利活用に関係する具体的な活動を起こせるようになる。

■取得要件：

- ・Ⅱ種資格を有すること
- ・選択講義8回、選択の実習8回
- ・実技試験（Ⅱ種小論文でまとめた提案を実践する）